



志津南 news

志津南ホームページ
http://shizu373.net

志津南学区の人口 (5/31 現在)
世帯数 2,217 総人口 6,159 人
発行
志津南学区まちづくり協議会
Tel(fax) 077-507-6496
E-mail shizuminamimachi@gmail.com

23日に夏まつり

プログラム多彩に 追分南には送迎バスも

第19回志津南ふれあい夏まつり(同実行委員会主催)は、今月23日(土)午後6時から若草中央児童公園を会場に開催されます。
すでにプログラムでもご案内の通り、おなじみの屋台やイベントに加え、新たに琉球ヴァイオリン演奏やママさんたちのチアガール演舞が華を添えます。また昨年同様、追分南地区に無料送迎バスを運行します。多数のご来場をお待ちしています。

ママ・チアチームが華麗な舞い

ーは大津、守山、長浜など滋賀県内全域にわたっています。練習は、中間地点



の守山、安を中心に、月数回行っています。もちろん、練習も本番も子どもたちが一緒だということですよ。

琉球ヴァイオリンも初登場

琉球の民族ヴァイオリン音楽奏者大城敦博さん(沖縄県那覇市出身、京都府南丹市園部町在住)が、唄の盛んな沖縄には

どなく、幼い頃から口ずさんだ唄を楽器で表現する方法を模索し創出した「琉球ヴァイオリン(琉球の民族ヴァイオリン音楽)」を演奏します。写真。

国内における6弦ヴァイ

子育て中の母親たちが「母親であることをマイナスにとらえず、楽しんでいる背中を子どもたちにも見せたい」とボンボンを手に踊るチアダンスチーム「ママチア滋賀スパークー・ジェム」写真が日頃の練習の成果を披露します。
チームは、平成24年11月に結成、現在25人。メンバ



楽器のための音楽がほとん

ます。
夏まつりでは、琉球ヴァイオリンのほか、6弦ヴァ

野火野火がオカリナ演奏

滋賀県のレイカティア大 学陶芸学科の卒業生を中心にオカリナ好きが集まった「野火野火アンサンブル」(佐々木春昭代表)が大学で

イパーならではの演奏をお楽しみください。

習得した陶芸の腕を活かし、自分たちで作ったオカリナ

を演奏します。
現在、市民センターで腕をみがきながら、長寿の郷「ロクハ荘」などで演奏活動を続けています。
当日の演奏ぶりが期待されます。

プログラム4ページに

夏まつりのプログラムはこれまでA4サイズのカラ印刷(2ページ)で全戸



配布していましたが、今回初めてA4サイズの両面カラー印刷(4ページ)のプログラムを製作しました。模擬店の内容やテントの配置変更など行った関係で、会場全体の配置図を大きく見やすくしました。
また、各面には夏まつりを応援してくださる企業などに賛同していただき7コマの広告を掲載しました。



追分南地区への無料送迎バスの運行は別表の通り。
問い合わせはまちづくり協議会=507(6496)まで。

往路			
乗降場所	①	～	⑤
コーギーガーデン(アネックス入り口)	16:30	～	17:30
向山ニュータウン	16:35	～	17:35
かがやきの丘中央	16:40	～	17:40
丸尾	16:45	～	17:45
若草中央通り	16:50	～	17:50
①～⑤の間、15分間隔で5便出発します			
復路			
乗場所	①	～	⑤
若草中央通り	20:30	～	21:30
①～⑤の間、15分間隔で5便出発します			
往路と同じ場所に停車します			

趣味悠々

陶芸 「焼く小壺」
縦10センチ 横8センチ
制作 鈴木 明さん 若草8丁目
ひとこと



七輪4個を使って焼く、しごく簡単な焼き物です。
うまく焼けるかどうかは五分五分。
七厘引いて腕3厘、窯の名前は五分三厘窯。
偶然に任せた向こう合わせの窯です。



3年目迎えた安心のバトン



志津南学区社会福祉協議会(上田恒章会長)が平成26年度に導入した「日常の緊急救助・災害発生時の避難救助や緊急連絡の仕組み」の「安心のバトン」が3年目を迎えます。
今年度は65歳以上の方91人(71世帯)に今月中旬からバトンを配布します。この結果、3年間で延べ1182人(773世帯)が3年目を迎えます。
「安心のバトン」が3年目を迎えます。今年度は65歳以上の方91人(71世帯)に今月中旬からバトンを配布します。この結果、3年間で延べ1182人(773世帯)が3年目を迎えます。

に行き渡ることになります。

志津南学区の高齢化率は地域により大きな差があります(若草34%、追分南地区9%)。そのため高齢者家庭はもろろん、昼間など高齢者だけにいる家庭でも、緊急時に万全の準備・対応が求められています。

安心のバトン「利用届け」の提出世帯は過去2年間で対象世帯の約35%、247世帯です。利用届けを出していないが冷蔵庫等に保管している世帯も多くあります。この機会にぜひ利用届

スポレク祭に65人が参加



けを提出いただき、安心のバトンの利用を確実なものとしていくことが大切です。

個人情報漏れる心配はありません。

また大縄跳びと大玉リレ

第19回草津市スポーツ・レクリエーション祭が6月12日、野村運動公園と同体育館で開催されました。志津南学区からは学区對抗種目として4種目のうちペタンク、ディスクンが各2チーム、大縄跳びと大玉リレが各1チームの45人、応援も含め65人が参加しま

みまわり隊に防犯功労者表彰



草津栗東防犯自治会の平成28年度定期総会が6月11日、栗東市役所で開かれ、平成27年度の防犯活動に貢献した個人、団体の功労者を選考した結果、2個人、2団体を選出、団体功労者に若草一丁目の「みまわり隊」(大倉清廣隊長、隊員15

人)が選ばれました。同隊は地域安全・防犯と防災活動に積極的に取り組み、毎月第一日曜日にゴミ拾いを兼ねて町内防犯巡回を実施するとともに、防犯・防災に係わる会議を開催、活発に意見交換し地域安全を推進、昨年痴漢行為が連日発生した際には2か月間、夜間の町内一斉パトロールを実施するなど、市内町内会活動の模範となっていることが評価されました。授賞式は7月2日、アミカホールで開催の同自治会研修会の席上で行われました。

2団体にPTA功労表彰



表彰を受けるスクールガード代表(上)と緑化ボランティアの会代表



子供たちの生活・学習環境整備への尽力が評価されたものです。

の潤井康人さんが永年の体育振興に貢献された功を称

えられ、体育功労賞を授与されました。



まち協入門講座開く
志津南市民センター(公民館)は6月11日、志津南シニアのつどいまち協入門講座「まち協ってなに?」地域活動にすぐに役立つ」

を開催、町内会長をはじめ、まちづくりに関心のある住民16人が参加しました。講師の志津南学区まちづくり協議会会長の中原勝一さんが志津南学区の歴史、まち協の組織や財源等について分かりやすく説明しました。参加者はパワーポイントを使った説明等に熱心に耳を傾け、質疑応答でも、積極的に活発な意見が交換されました。

乱舞するホタルに感動



志津南学区地域協働合校推進委員会(斎藤充浩委員長)は6月4日、「ホタルに会いに行こう」を開催、小学生36人とその保護者や地

域の方など115人が参加しました。

参加者は午後7時に市民センターに集合、まずホタルの生態やホタルが生育しやすい川沿いの樹木、川の環境についてスクリーンに映しだすなど、事前学習しました。写真。

日が落ちた同7時半ごろ、ホタルに会えることを期待しつつ伯母川上流に向かいました。10分ほどで現場につくと「見えた!」「光った!」「飛んだよ」とあちこちから子どもたちの興奮気

味の歓声が飛び交いました。今年はホタルの発生数が多く「154頭数えたよ」と得意そうに話す子ども、ホタルが川面を乱舞する様子に「この地域にもホタルが住むような自然が残っているのですね」と地域の人たちも感慨深げでした。

子どもたちから伯母川上流でホタルがたくさん飛んでいると聞き、初めて観賞に来る人も増えました。改めてホタルのエサ、カワニナの住むきれいな川であれと願い、自然環境を守っていく大切さを改めて感じました。

若草3・4・5丁目町内会自主防災会の3町合同訓練が6月26日、若草中央児童公園で、南消防署の職員4

若草の3町内会が合同防災訓練



人への指導のもとに、消火器と消火栓の使用訓練が行われ、60人を超える住民の皆さんが参加しました。写真。消火器の使用訓練では、署員から「使用する際には必ず風上に立ち、避難経路を確認しておくことが命を守る上で必要」と説明を受けたのち、「火事だ」と大きな声で叫び火元に見立てたコーンに近づきレンを抜き、レバーを握りホースを左右に包み込むように噴射する基本動作を練習しました。

消火栓取り扱いは、20メートルもあるホースをホウリングの要領でホースを転がして伸ばしたあと、伸ばしたホースを2人一組で要領よく丸めました。また、ホース格納箱に格納されている工具の使用方法については、説明を受けたあと、実際に3本のホースをつなぎ消火栓を開くよう合図を送り、その後放水する手順動作を行いました。参加者の中には、1年に1回程度の訓練で少し戸惑う

人、手慣れた人などさまざまでしたが、初期消火活動の大切さを実感されたようでした。南消防署員が「各家庭の火災報知器は設置後10年を経過していることから電池を確認すること。また、地震は熊本県地震のように予期せぬ場所起こることから、防災袋等に非常食等を用意して備えることが大切」と締めくくり、訓練を終わりました。

30周年記念コンサート



志津南小学校は5月27日、創立30周年を記念して、作曲家でありピアニストである松本俊明さんを招いてコンサートを開催しました。写真。

この日に向けて全クラスが松本さん作詞・作曲の「見えない羽根」の歌を練習、素敵な歌声を響かせました。「私もあんな風に弾けるように」ピアノの練習をがんば



お薬よもやま話

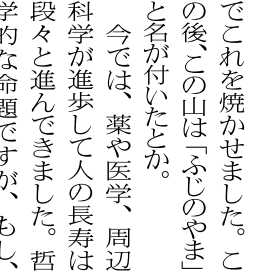
世の中サプリが大流行りなのは「いつまでも元気で若々しく、長生きしたい」願望や煩惱を誰もが持つからでしょう。別の角度から見ると、長寿や若返りを願うほど良い社会なんだと言えなくもなく、為政者が喜ぶような見解です。

さて、栄華を極めた秦の始皇帝(前3世紀頃)は、不老不死の薬を求めて臣下

不老不死の夢

は、多数の工人(三千人という説がある)を連れて出かけたものの結局見付けられませんでした。処罰を怖れたのか、あるいは元々の計画だったのか、徐福は工人達と五穀の種などを携えて縄文晩期の日本

に定住し、中国の先進文明を広く伝えたそうです。一方、始皇帝はミイラを作る際に防腐に用いる辰砂(薬)を探して持ち帰るよう命ぜられた徐福という役人



(硫化水銀)が不老不死薬だと信じて自ら用いたためか、皮肉なことに「老」には届かない49歳で崩御しました。竹取物語にも不死の薬が

志津南小学校は5月27日、創立30周年を記念して、作曲家でありピアニストである松本俊明さんを招いてコンサートを開催しました。写真。

また地元に住む歯科衛生士さんが自分の子どもをモデルにして歯みがきの仕方を実演してくれましたが大変好評でした。

健推が虫歯予防訴え



志津南学区健康推進員連絡協議会(岡 敬子代表)は虫歯予防月間の6月16日に志津南市民センターで、6月23日にかがやきの丘きらり会館で未就園児(46人)と保護者を対象にエブ

ロンスンアターを開催しました。写真。マー君とサクラちゃんと大きな口のワニさんを使っている演技に子どもたちは大喜びでした。参加者の中には「3人の子どもを連れてきました」「2か所とも来ました」というお母さんもありました。

やすらぎ川柳講座



やすらぎ学級第2回講座が6月22日、志津南市民センター(公民館)で開催され、学級生29人が参加しました。写真。講座は「川柳を楽しむ」と題し、昨年に引き続き、よみうり文芸川柳選者の笠川嘉一さんを講師にお招きしました。事前に提出されたユーモ

アあふれる川柳作品全98句の中から、笠川先生が選考した天1句、地2句、人3句、佳作42句が発表され、各句の面白さや、作者の心情を読み取りながら、一つひとつ丁寧に解説していただきました。

笠川講師は「ただ言葉並べるのではなく、組み合わせ方がとても

よく考えられている」と、志津南やすらぎ学級の川柳のレベルの高さに驚き、自身が選者を務めている「滋賀県文学祭」の川柳部門にもぜひ応募してほしいとお褒めの言葉を頂戴しました。

講座終了後、この講座で作られた川柳の短冊と涼しげな笹飾りを大きな笹にみんなで飾り付けました。写真。天地人に選ばれた作品は次の通りです。



【天】露地の朝パ
ン焼く香り
子等の声
【地】独り身は猫
と戯れ日を
すこす
たわいない

こよみ

- 7月16日(土)
☆健康ウォーキング
8:15 若草中央公園
 - 7月23日(土)
☆社会奉仕
8:45 若草中央公園集合
 - 7月26日(火)
★地域サロン：懐メロを歌う会
10:00～11:30
☆社会奉仕
8:45 若草中央公園集合
 - 8月5日(金)
★ふれあい昼食会
12:00～13:00
ボランティア「泉」
 - 8月6日(土)～7日(日)
★南っ子宿泊体験
12:30～翌13:00
 - 毎週金曜日
☆ふれあい喫茶(お茶の間)
10:00～12:00
若草第五集会所(五丁目)
- ★印の場所は志津南市民センター(公民館)です

植え付けた苗すくすく



先月、志津南緑化ボランティアの会(降矢義夫代表)が地域連携活動として志津南小学校と協力、児童とともに同校の「ふれあい農園」に植え付けたサツマイモとカボチャの苗が順調に育っています。写真。その後ボランティアの方々が朝夕の水やりや雑草の除去作業など畑の世話を続けており、今のところ、苗はすくすく成長、秋にはたくさんの収穫が期待されます。

【人】話がはずむ 老の仲
人生は燃ゆることなり
いつまでも
あなた色すっかり染まり
今がある
ありがとう今日も楽しく
生きられた

最新式芝刈り機を購入



若草・岡本西地区協働活動委員会は6月15日、最新鋭の自走式芝刈り機を購入しました。写真。従来の自走式芝刈り機が購入から20年余りが経過いつ故障してもおかしくない状況から、地区環境美化委員会から要請を受け、昨年度予算化されていたもので、若草中央公園で業者から取り扱い説明を受けたあと、試運転を兼ねて芝刈り作業をしました。

21日から恒例のラジオ体操

志津南小学校PTAは夏休み恒例の早朝ラジオ体操を今年も今月21日から8月25日まで午前7時30分から町内それぞれ所定の場所で行います。

ただし、土・日曜日・祝日、8月10日から14日はお休みです。
地域のみなさんもご参加ください。

折々の記



最近ウォーキングを始めました、といっても休みの日だけなのですが、始めたきっかけは一度、駅まで歩いたことです。

歩きの発見

普段は車、バスなどで今まで何十回いや何百回と通っている道でわかりきった風景のはずなのに、こんなところに入ってきたら、こんなところに入っていく道があったんだ。などなど大げさに言うところ初めて通った道?というくらいいたくさ

の発見があったのです。それから、休みの日に通勤の道、買い物に行く際の道など普段、車では数えきれないほどの回数通っている道を選んでウォーキングし、見つけた道に入っていくことで、抜け道を見つけた。普段いろいろなことをする際にもいろんな視点から見て考えると思いがけないいい案につながるかもしれない。始めたばかりのウォーキングからこのようなことが学べました。

(M・S)